

あの京都大学内を走り回れ!

横田 実

平成 24 年 10 月 20 日 第17回京都大学京都女子大学大会前日イベント

山中教授が ips 細胞の研究でノーベル賞をとったという話題がホットな中、その京都大学内外を使って行われた前日イベント。存分に、大学内を走り回りました。

吉田山からのスタート

今回は、翌日行われる大会の前日イベントとして、京都大学を利用して行われたイベント。中山教授のホットな話題もあり、興味津々と生徒ともに参加しました。



(受付の様子)

残念ながら、ips 研究所は会場とは別の構内だったため目に触れることはなかったのですが、それでも広い構内を隣の吉田山を組み合わせるコースを組んで、楽しませてくれました。

通過可能箇所を探せ

吉田山の公園からスタートをして、山の中のコントロールをいくつかチェックして、大学内へ。吉田山は、神社の境内は競技では使えないため、北部を使ってのコース取りになっていました。

大学構内に入ると、建物が入り組んでいて、どこをどうやって回り込むかが時間を短縮する大きなポイントとなってきます。校舎のまわりにも、少しの間隙で通り抜けができたり、通り抜けができそうでも、よく見ると黒線があり抜けられない場所や、現地に行ってみて階段があり抜けられなかった箇所もあり、建

物の入り組んだ大学構内ならではのポイントとなっています。うまく回って、出入りを少なくすることが必要ですね。



(スタート地区にて)



アングルの突き刺さらない場所への設置には、ペットボトルを活用してたててあります。

サブメニューで

サブメニューとして、メインレースの後に、大学構内のみを使うフリーポイントOも企画され、それにも参加しました。メインレースのときに使った構内なので、イメージを作りやすく、どう効率よくまわるかがフリーポイントの鍵になってきます。



(フリーポイントスタートの様子)

ところが回るときに、うっかりコントロールを1つ飛ばしてしまい、痛恨のペナになってしまいました。フリーのときは、コントロール取得に関する注意力が大切ですね。

(文責：横田実)

